

	工番	令和5年度(地工)第4号	図名称	配置図	名張市都市整備部営繕住宅室	検図	設計	作成年月日	図面No.
	工事名称	名張市民センター工芸室空調設備改修工事	縮尺	A2S=1/400				R5.12	M-01

既設空調機器表

機器名称	形式・仕様	電気容量				台数	備考
		相 (φ)	電圧 (V)				
空冷ヒートポンプエアコン インバーター	形式 天井カセット形 4方向吹出 同時ツイン	3	200			1	設置場所: 工芸室
	冷房能力 10.0 (5.0~11.2) KW						
R22	暖房能力 11.2 (5.1~14.0) KW						
	冷房消費電力 2.76 KW						
	暖房消費電力 2.86 (~3.71) KW						
	付属品 ワイヤードリモコン、化粧パネル						
	他一式共						
	基礎 既製コンクリート室外機架台、防振ゴム板敷き						

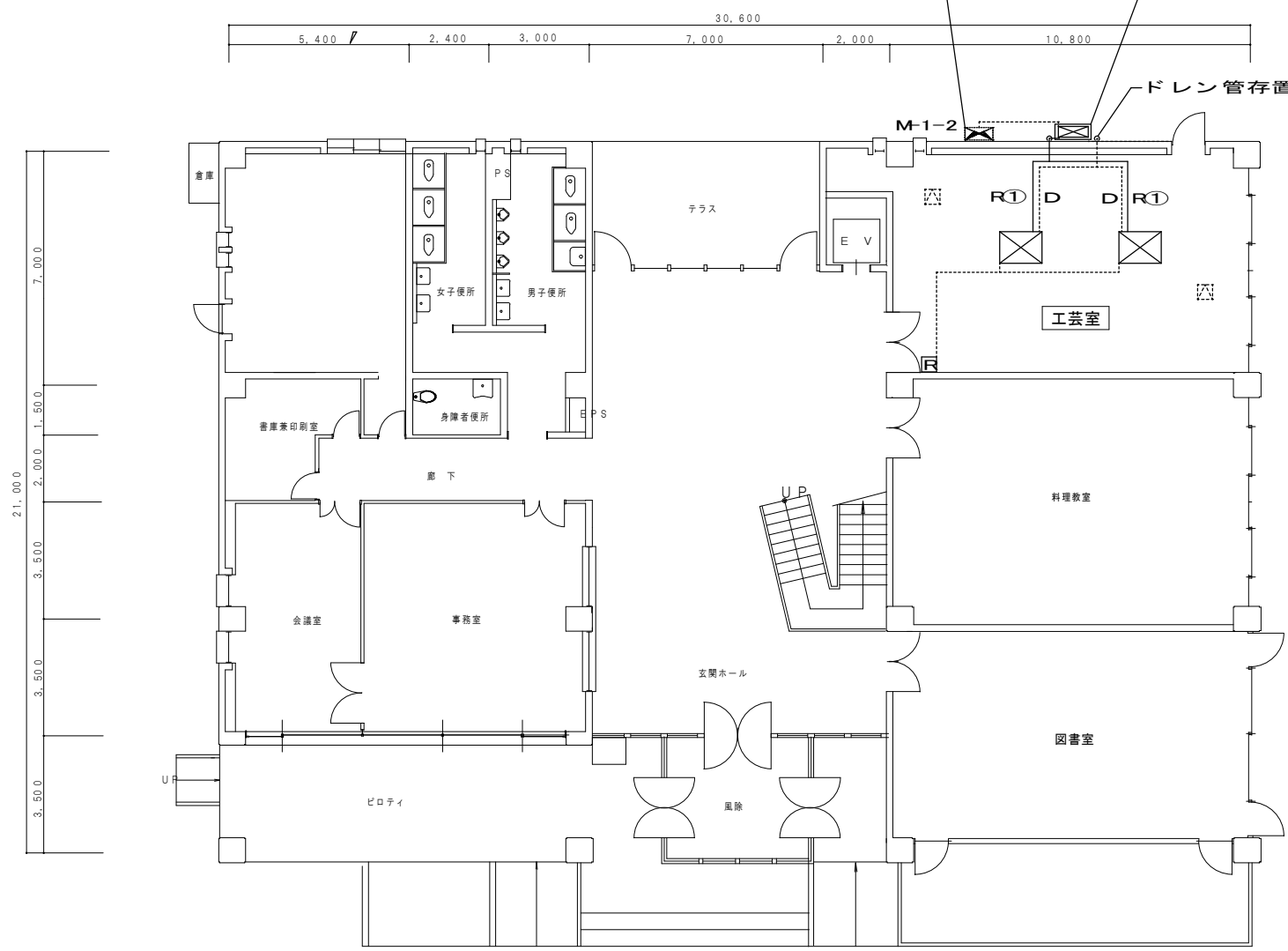
注記 冷媒破壊証明書を提出すること。

冷媒配管

記号	液管	ガス管
①	9.52φ	15.88φ
②	9.52φ	19.05φ
③	9.52φ	25.40φ
④	12.70φ	25.40φ
⑤	15.88φ	31.80φ
⑥	15.88φ	34.92φ
⑦	19.05φ	38.10φ

既設開閉器存置

既設コンクリート基礎存置



- ※ 図中に示す実線部分の機器、配管等の撤去を行うこと。
- ※ 点線部分の既設配管・配線等は既設流用。
- ※ 電源配線、リモコン配線及び連絡線配線は既設流用。

凡例

R	冷媒配管(露出部はSUSラッキング)
D	ドレン管 VP25
R	ワイヤードリモコン(露出部:メタルモールA型)

1階平面図 S=1:100

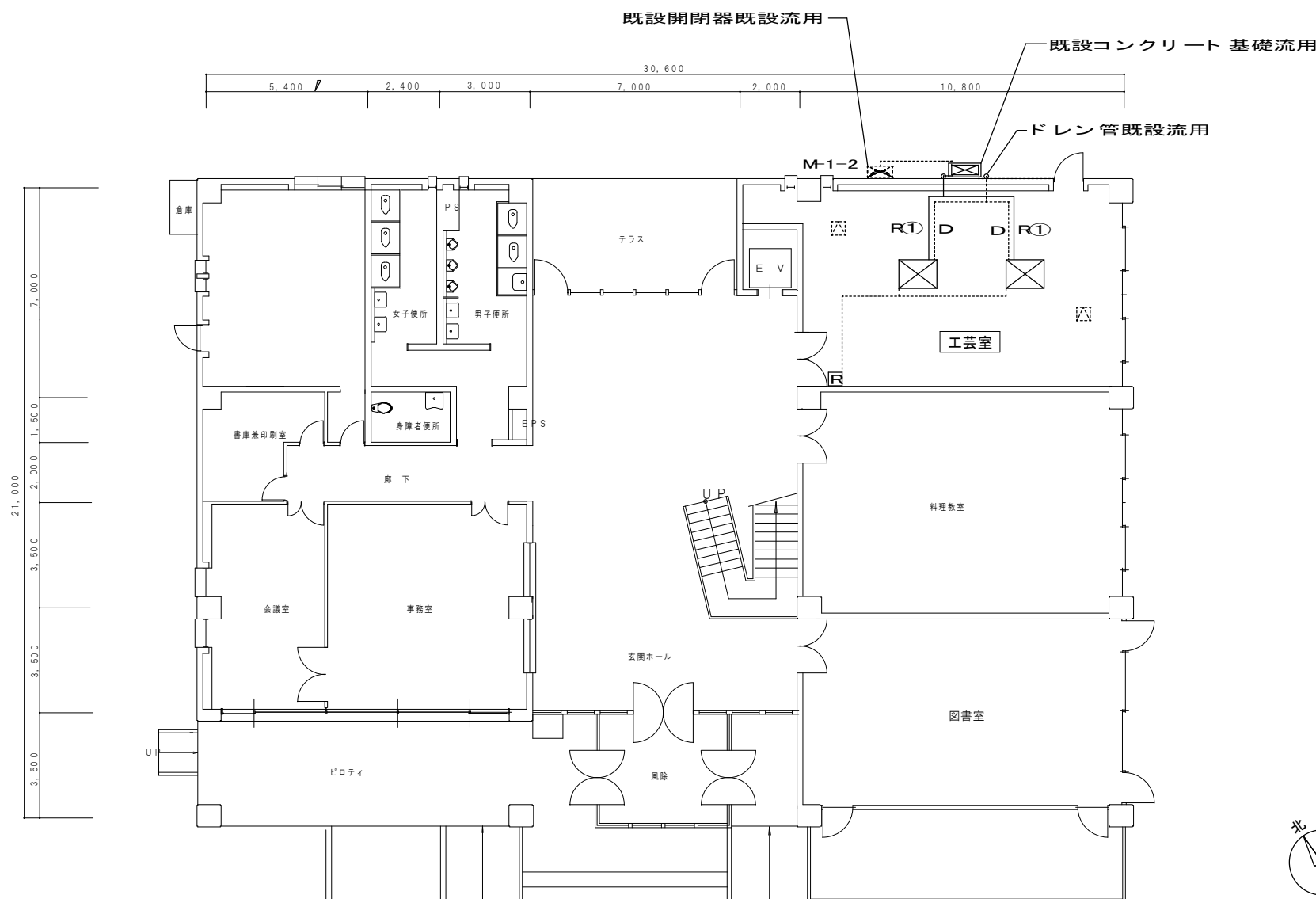
※ 仕様・個数等は参考とし、現地調査を行うこと。	工番	令和5年度(地工)第4号	図面名称	1階撤去平面図	名張市都市整備部営繕住宅室	検図	設計	作成年月日	図面No.
	工事名称	名張市民センター工芸室空調設備改修工事	縮尺	A2S=1/100					

新設空調機器表

機器名称	形式・仕様	電気容量				台数	備考
		相 (φ)	電圧 (V)				
空冷ヒートポンプエアコン インバーター R32	形式 天井カセット形 4方向吹出 同時ツイ 冷房能力 20.0(5.0~22.4) KW 暖房能力 22.4(5.6~28.0) KW 冷房消費電力 6.23 KW 暖房消費電力 5.47 KW 付属品 ワイヤードリモコン、ドレンアップメカ 改修用ワイドパネル(1490×1020程度) 他一式共 基礎 既製コンクリート室外機架台、防振ゴム板敷き	3	200			1	設置場所：工芸室 日立 RCI-CP224RSP3 ※同等品可
注記 運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。空調機は省エネタイプを仕様すること。 冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。 室外機は転倒防止を施すこと。 室外機には「部屋名又は系統名」「施工年月日」「施工業者名」をカットニングシート貼りすること。 機器は同等品以上とする。 室内機は必要に応じて落下防止支持(耐震支持)を施すこととし、吊りボルトは原則新設とする。 室外機は接着系あと施工アンカー(SUS製 M10×4本)にて固定し、Wナットにて締め付けを行うこと。 室外機搬入時、ユニック(4t 1日)を見込む。また交通誘導員B(2人)配置すること。(交通誘導員Bのみ指定仮設)							

冷媒配管

記号	液管	ガス管
①	9.52φ	15.88φ
②	9.52φ	19.05φ
③	9.52φ	25.40φ
④	12.70φ	25.40φ
⑤	15.88φ	31.80φ
⑥	15.88φ	34.92φ
⑦	19.05φ	38.10φ



- ※ 図中に示す実線部分の機器、配管等の新設を行うこと。
- ※ 特記なき限り、屋内側は天井内配管配線とする。
- ※ 点線部分の既設配管・配線等は既設流用。
- ※ 電源配線、リモコン配線及び連絡線配線は既設流用。

凡例

R	冷媒配管(露出部は合成樹脂化粧ケース) ※既設躯体貫通穴を利用
D	ドレン管 VP25 ※既設流用
R	ワイヤードリモコン(露出部：メタルモールA型)

1階平面図 S=1:100

※ 仕様・個数等は参考とし、現地調査を行うこと。

工番	令和5年度(地工)第4号	図面名称	1階改修後平面図	名張市都市整備部営繕住宅室	検図	設計	作成年月日	図面No.
工事名称	名張市民センター工芸室空調設備改修工事	縮尺	A2S=1/100					